

令和7年2月定例記者会見要旨(令和7年2月21日)

1. 埼玉県八潮市で大規模な道路陥没が起き、穴に転落したトラックのドライバーが安否不明になった。陥没は、下水道管の老朽化や汚水から発生した硫化水素による腐食が原因の一つと考えられているが、坂出市の下水道管の現状はどうなっているか、また、埼玉の事故を受けて、どんな対応をとるかお聞きしたい。

本市の下水道は、汚水と雨水を分けて処理する分流式を採用しており、昭和52年に下水道法に基づく事業認可を受け、幹線管渠および面的管渠の整備を進めております。

本市が管理する管渠のうち、今回の事故の原因の一つとなった硫化水素による腐食が懸念される汚水管については、口径や流量が埼玉県八潮市のような大規模なものではなく、最大のもので1,100mmであります。

しかしながら、経過年数は最も古いもので46年が経過していることから、本市においては、平成29年度に坂出市下水道ストックマネジメント計画を作成し、計画に基づいたリスク評価等を行い、経過年数や管の材質などから判断した優先度の高いものから順次、テレビカメラ等を用いて管渠の内部調査を実施しております。

その調査において管の腐食が確認された文京町内の口径1,000mmの汚水管について、延長約90mの管渠更生工事を令和3年度に実施したところでございます。

今後につきましては、今回のような事故を未然に防止することで、市民の安全・安心の確保に努めたいと考えております。引き続き、計画に基づいた調査を行い、腐食等による危険性が確認された場合には対策工事を行うなど、適切な維持管理に努めてまいります。